

海外遠征の選考プロセス

※選考①を上位選考とし、選考①に該当しない選手を選考②の選考方法で選考する

ランク		ワールドカップ(ネーションカップ)世界選手権派遣 選考の基準 (以下 ワールドカップ→WC ネーションカップ→NC 世界選手権→WM とする。)		WC(NC)WM派遣の有無
		選考① 前年度の後半戦もしくは当年度の 前半戦の国際試合での成績	選考② 当年度のコントロールテストと対 象国内大会の公式練習及び大 会結果を元にポイント化	
シニア	JOC強化指定選手	A評価	WCまたはWM6位以内	派遣対象
		B評価	WCまたはWM男子15位以内 女 子10位以内 ダブルス12位以内	派遣対象
		C評価	WCまたはWM男子32位以内 女 子24位以内 ダブルス24位以内	250ポイント以上 派遣検討
		D評価		250ポイント以下 私的遠征のみ
	一般登録選手			派遣なし
ジュニア	JOC強化指定選手	JOC強化指定選手、WC(NC)WM派遣、私的海外遠征に関する基準に準ずる。		

ジュニア選手は250ポイント以下でも、判断時の年齢・将来性・合宿や練習会の参加姿勢などを検討し、選考する場合がある。

コントロールテストと対象国内大会の公式練習及び大会結果のポイントについては、別紙ポイント表を

選考② シニア選手対象国内大会	全日本選手権大会の公式練習、及び大会記録にて評価し、ポイント化する。
	アジア選手権大会の公式練習、及び大会記録にて評価し、ポイント化する。
ジュニア選手対象国内大会	JOCジュニアオリンピックカップの公式練習、及び大会記録にて評価し、ポイント化する。

ポイントの詳細についてはJOC強化指定選手、WC(NC)WM派遣、私的海外遠征に関する基準に準ずる。

私的遠征の許可基準

ランク		私的海外遠征
シニア	JOC強化指定選手	国際ライセンスを発行し、海外での練習のみを認める。日本人コーチの帯同が条件になる。
	一般登録選手	国際ライセンスは発行しない。滑走可能なコースがあれば日本人コーチの帯同を条件として認める。
ジュニア	JOC強化指定選手	国際ライセンスを発行し、海外での練習のみを認める。日本人コーチの帯同が条件になる。

①私的海外遠征・・・JBLSFの予算が充てられた強化事業以外で費用の全てを選手個人が負担し、記載条件を満たした上で、連盟がその実施を認めたもの。

②日本人コーチ・・・JBLSFが認めた日本人コーチに限る。

選考の時期

前期海外遠征	当該年度のコントロールテストの結果と、前年度の国内、海外での大会成績をもって、選考基準に基づき公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 競技委員会が選考し、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て9月上旬までに決定する。
後期海外遠征	当該年度のコントロールテストの結果と、前年度の国内、海外での大会成績をもって、選考基準に基づき公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟 競技委員会が選考し、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て12月下旬までに決定する。

コントロールテスト種目

シニア種目	ジュニア種目
メディシンボール投げ	立ち幅跳び
パワークリーン	背筋
ベンチプレス	上体起こし
首(頭部に負荷をかけ、姿勢維持)	腕立て伏せ
長座体位前屈	反復横とび
懸垂	長座体位前屈
背筋	50m走
上体起こし	シャトルラン
ストレッチポールスクワット	ストレッチポールスクワット